

企業のための AI 活用ガイド



ご案内パンフ



AI活用は、"導入"より"整理"から。

人手不足と属人化を、現場の言葉で伴走して解く。

OVERWRITE — 企業向けAIコンサルティング

神戸／社内SE・PM・CTOの実務経験

なぜ今、企業にAIなのか

現場も管理部門も、やることが年々増えています。文書作成、データ集計、問い合わせ対応、報告業務——。多くが「特定の担当者の経験と時間」に支えられ、その人が忙しいと止まってしまう。属人化と人手不足は、いまや多くの企業に共通の悩みです。

そこに「AIを入れたい。でも、何から始めれば？ 自社のデータを扱って安全なの？」という不安が重なります。

私たちの答えはシンプルです。

ツールを選ぶ前に、まず"今の業務"を一枚の地図にしましょう。

何を、誰が、どんな順番でやっているか。これがはっきりすれば、AIで速くできる仕事も、そもそも無くせる仕事も見えてきます。

OVERWRITE とは

オーバーライト株式会社は、社内SE・PM・CTOの経験をもとに、業務の整理からAI・システムの導入・運用まで一貫して伴走する、神戸の開発・コンサルティング会社です。

- 専門用語に頼りません。現場にも経営層にも、同じ言葉で説明します。

- ・ **発注側に立ちます。** ベンダーへの"丸投げ"で失敗しないよう、現場とITの間に立つ"通訳"の役割を担います。
- ・ **PoCで終わらせません。** 最初から本番運用・定着を見据えて設計します。

ITの専任担当がいなくても大丈夫。「何から手をつければいいのか分からない」段階からご相談いただけます。

企業でAIが効く場面



「全部をAIに」ではなく、**効くところから小さく**。特に効果が出やすい場面です。

■ 文書・事務の効率化

- ・ 報告書・議事録・メール・各種文書のたたき台づくり
- ・ 定型作業の自動化、データ集計・可視化

■ 問い合わせ対応

- ・ 社内ヘルプデスク、FAQ、一次回答・メール返信の下書き

■ 社内ナレッジ活用 (RAG)

- ・ 社内文書・マニュアルをAIに参照させ、必要な情報に素早く到達

■ 開発の内製化支援

- ・ AIネイティブ開発で、要件定義～実装～テストを高速・高品質に

進め方 — 3つのステップ



私たちは、いきなり大きなシステムを勧めません。**整理** → **小さく試す** → **定着**の順で、コストを抑えながら確実に進めます。

- ① **整理 (現状の棚卸し)** 今の業務フローを一枚の地図に。AIが効く所、そもそも無くせる所、人に依存している所を、外部の目で洗い出します。
- ② **小さく試す (PoC: 数週間)** 一番効く1業務だけで、効果を実際に検証。「作業時間が○割減った」など、後から測れる形で確かめます。
- ③ **定着・運用** 現場が無理なく使える形に。利用ルールと簡単な研修込みで、現場に根づかせます。

情報セキュリティ・ルール

自社データを扱うからこそ、ここを最初に固めます。

- **機微情報を入れない設計**を基本に、クローズド（社内完結型）での運用も選べます。
- 「何を入れてよく、何はダメか」を**明文化**し、現場が迷わない利用ルールをご用意します。
- 貴社の情報セキュリティ方針に沿った形に調整します。

AIは便利な道具ですが、**判断と責任は人が持つ**。その線引きを一緒に設計します。

始め方・お問い合わせ

要件が固まっていない段階こそ、ご相談ください。まずは現状を一緒に整理するところから始められます。

- **5万円のAI活用診断**：現状整理＋「どこにAIが効くか」のご提案
- **無料相談**：導入を検討する段階でのご相談を歓迎します

「うちの場合は何から？」を、専門用語抜きで一緒に考えます。

オーバーライト株式会社（OVERWRITE INC.） 神戸 / Web: overwrite.jp / お問い合わせ: overwrite.jp
の問い合わせフォーム



スマホで読み取り → **無料相談へ**

overwrite.jp（お問い合わせ・5万円AI活用診断はこちら）